

阪南市子ども・子育て支援事業計画に関する中間見直しについて

1. 教育・保育の量の見込みの見直し

国は、「実績値と計画値が10%以上かい離する場合、原則として見直しが必要」と見直しの基準を示しています。これに対し、本市では、1号認定、2号認定については、10%以上のかい離は見られません。

3号認定の0歳と1・2歳においては、27年度に10%以上のかい離は見られましたが、28年度は解消されております。

以上のことから、教育・保育の量の見込みについて、見直しは行わないこととします。

2. 子育て支援事業に係る量の見込みの見直し

事業計画策定時の「計画期間における年齢各歳別人口」については、実績値に大きなかい離がみられないため、見直しは行わないこととします。

各事業について、量の見込みと実績値を精査し、10%以上のかい離のある事業等について、平成29年度、30年度、31年度の量の見込みと確保方策の見直しを行います。

(1) 利用者支援に関する事業（利用者支援）

子ども又はその保護者の身近な場所で、教育・保育施設や地域の子育て支援事業等の情報提供及び必要に応じ相談・助言等を行うとともに、関係機関との連絡調整等を実施する事業です。

※ 平成27年度、28年度の実績は0か所ですが、平成29年度より母子保健型での実施を行っており、計画の見直しは行いません。

(2) 時間外保育事業

保育認定を受けた子どもについて、通常の利用時間以外の時間において、認定こども園、保育所等において保育を実施する事業です。

【量の見込みと確保方策】

【変更前】

	平成 27 年度	平成 28 年度	平成 29 年度	平成 30 年度	平成 31 年度
① 量の見込み	368 人	350 人	337 人	326 人	318 人
② 確保方策	368 人	350 人	337 人	326 人	318 人
③ ②－①	0	0	0	0	0

【変更後】延長保育を利用している実績人数に、在籍児童数の比率を乗じて見直し

	平成 27 年度	平成 28 年度	平成 29 年度	平成 30 年度	平成 31 年度
① 量の見込み	368 人	350 人	<u>218 人</u>	<u>208 人</u>	<u>199 人</u>
② 確保方策	368 人	350 人	<u>218 人</u>	<u>208 人</u>	<u>199 人</u>
③ ②－①	0	0	0	0	0

(3) 放課後児童健全育成事業

保護者が労働等により昼間家庭にいない児童に対し、小学校の余裕教室等を利用して適切な遊び及び生活指導の場を提供し、その健全な育成を図る事業です。

※ 平成27年度、28年度は、10%以上のかい離がみられましたが、平成29年度の実績見込みが量の見込み相当になると想定されるため、見直しは行いません。

(4) 子育て短期支援事業

保護者の疾病等の理由により家庭において養育を受けることが一時的に困難となった児童について、児童養護施設等に入所させ、必要な保護を行う事業（短期入所生活援助事業（ショートステイ事業）及び夜間養護等事業（トワイライトステイ事業））です。

【量の見込みと確保方策】

【変更前】

	(延利用者数)				
	平成 27 年度	平成 28 年度	平成 29 年度	平成 30 年度	平成 31 年度
① 量の見込み	87 人日	83 人日	80 人日	77 人日	76 人日
② 確保方策	87 人日	83 人日	80 人日	77 人日	76 人日
③ ②－①	0	0	0	0	0

【変更後】 利用実績により見直し

	(延利用者数)				
	平成 27 年度	平成 28 年度	平成 29 年度	平成 30 年度	平成 31 年度
① 量の見込み	87 人日	83 人日	<u>10 人日</u>	<u>10 人日</u>	<u>10 人日</u>
② 確保方策	87 人日	83 人日	<u>10 人日</u>	<u>10 人日</u>	<u>10 人日</u>
③ ②－①	0	0	0	0	0

(5) 地域子育て支援拠点事業

乳幼児及びその保護者が相互の交流を行う場所を開設し、子育てについての相談、情報の提供、助言その他の援助を行う事業です。

【量の見込みと確保方策】

【変更前】

	(延利用者数)				
	平成 27 年度	平成 28 年度	平成 29 年度	平成 30 年度	平成 31 年度
① 量の見込み	1,142 人回	1,086 人回	1,047 人回	1,013 人回	988 人回
② 確保方策	1,142 人回	1,086 人回	1,047 人回	1,013 人回	988 人回
③ ②－①	0	0	0	0	0

【変更後】平成 27 年度、28 年度については、にこにこルームのみ実績値に算定していましたが、ちっちこっこくらぶ、ちっちこっこベビー、よちよちこっこ、子育て講座、にこにこルーム、つどいの広場、子育ておしゃべりサロン、おとうさんとあそぼう事業を算定に入れ見直し

	(延利用者数)				
	平成 27 年度	平成 28 年度	平成 29 年度	平成 30 年度	平成 31 年度
① 量の見込み	1,142 人回	1,086 人回	<u>10,487 人回</u>	<u>10,696 人回</u>	<u>10,910 人回</u>
② 確保方策	1,142 人回	1,086 人回	<u>10,487 人回</u>	<u>10,696 人回</u>	<u>10,910 人回</u>
③ ②－①	0	0	0	0	0

(6) 乳児全戸訪問事業（こんにちは赤ちゃん事業）

生後4か月までの乳児のいる全ての家庭を訪問し、子育て支援に関する情報提供や養育環境等の把握を行う事業です。

【量の見込みと確保方策】

【変更前】

	平成 27 年度	平成 28 年度	平成 29 年度	平成 30 年度	平成 31 年度
① 量の見込み	281 人	274 人	267 人	259 人	251 人
② 確保方策	281 人	274 人	267 人	259 人	251 人
③ ②－①	0	0	0	0	0

【変更後】平成 27 年度、28 年度に 10 % 以上のかい離は見られませんが、量の見込と実績値を勘案し、0 歳児見込人口に見直し

	平成 27 年度	平成 28 年度	平成 29 年度	平成 30 年度	平成 31 年度
① 量の見込み	281 人	274 人	<u>316 人</u>	<u>307 人</u>	<u>297 人</u>
② 確保方策	281 人	274 人	<u>316 人</u>	<u>307 人</u>	<u>297 人</u>
③ ②－①	0	0	0	0	0

(7) 養育支援訪問事業および要保護児童対策地域協議会その他の者による要保護児童等に対する支援に資する事業

- ・養育支援が特に必要な家庭に対して、その居宅を訪問し、養育に関する指導・助言等を行うことにより、当該家庭の適切な養育の実施を確保する事業です。
- ・要保護児童対策地域協議会（阪南市児童虐待防止ネットワーク）の機能強化を図るため、調整機関職員やネットワーク構成員（関係機関）の専門性強化と、ネットワーク機関間の連携強化を図る取組を実施する事業です。

【量の見込みと確保方策】

【変更前】

	平成 27 年度	平成 28 年度	平成 29 年度	平成 30 年度	平成 31 年度
① 量の見込み	23 人	22 人	22 人	21 人	20 人
② 確保方策	23 人	22 人	22 人	21 人	20 人
③ ②－①	0	0	0	0	0

【変更後】実績値を勘案し、訪問延人数から実人数に見直し

	平成 27 年度	平成 28 年度	平成 29 年度	平成 30 年度	平成 31 年度
① 量の見込み	23 人	22 人	<u>40 人</u>	<u>40 人</u>	<u>40 人</u>
② 確保方策	23 人	22 人	<u>40 人</u>	<u>40 人</u>	<u>40 人</u>
③ ②－①	0	0	0	0	0

(8) 一時預かり事業

家庭において保育を受けることが一時的に困難となった乳幼児について、主として昼間において、認定こども園、幼稚園、保育所、その他の場所において、一時的に預かり、必要な保護を行う事業です。

①幼稚園における在園児を対象とした一時預かり（預かり保育）

【量の見込みと確保方策】

【変更前】

	(延利用者数)				
	平成 27 年度	平成 28 年度	平成 29 年度	平成 30 年度	平成 31 年度
① 量の見込み	6,617 人日	6,141 人日	5,893 人日	5,670 人日	5,551 人日
② 確保方策	6,617 人日	6,141 人日	5,893 人日	5,670 人日	5,551 人日
③ ②－①	0	0	0	0	0

【変更後】 平成 29 年度は尾崎幼稚園の一時移動により利用者数の減少を勘案。平成 30 年度からは、児童数の減、利用状況、実績値により見直し

	(延利用者数)				
	平成 27 年度	平成 28 年度	平成 29 年度	平成 30 年度	平成 31 年度
① 量の見込み	6,617 人日	6,141 人日	<u>4,391 人日</u>	<u>5,632 人日</u>	<u>4,971 人日</u>
② 確保方策	6,617 人日	6,141 人日	<u>4,391 人日</u>	<u>5,632 人日</u>	<u>4,971 人日</u>
③ ②－①	0	0	0	0	0

①保育所での一時預かり

【量の見込みと確保方策】

【変更前】

	(延利用者数)				
	平成 27 年度	平成 28 年度	平成 29 年度	平成 30 年度	平成 31 年度
① 量の見込み	4,032 人日	3,862 人日	3,727 人日	3,613 人日	3,521 人日
② 確保方策	4,032 人日	3,862 人日	3,727 人日	3,613 人日	3,521 人日
③ ②－①	0	0	0	0	0

【変更後】 現在実施の 1 園の実績により見直し。確保方策については 1 日 1 人として開所日数を勘案し見直し

	(延利用者数)				
	平成 27 年度	平成 28 年度	平成 29 年度	平成 30 年度	平成 31 年度
① 量の見込み	4,032 人日	3,862 人日	<u>25 人日</u>	<u>25 人日</u>	<u>25 人日</u>
② 確保方策	4,032 人日	3,862 人日	<u>290 人日</u>	<u>290 人日</u>	<u>290 人日</u>
③ ②－①	0	0	0	0	0

(9) 病児・病後児保育事業

病児・病後児について、病院・保育所等に付設された専用スペース等において、看護師等が一時的に保育等する事業です。

【量の見込みと確保方策】

【変更前】

(延利用者数)					
	平成 27 年度	平成 28 年度	平成 29 年度	平成 30 年度	平成 31 年度
① 量の見込み	106 人日	101 人日	97 人日	94 人日	92 人日
② 確保方策	106 人日	101 人日	97 人日	94 人日	92 人日
③ ②－①	0	0	0	0	0

【変更後】 公立保育所での体調不良児対応型の実績値により見直し

(延利用者数)					
	平成 27 年度	平成 28 年度	平成 29 年度	平成 30 年度	平成 31 年度
① 量の見込み	106 人日	101 人日	<u>470 人日</u>	<u>470 人日</u>	<u>470 人日</u>
② 確保方策	106 人日	101 人日	<u>470 人日</u>	<u>470 人日</u>	<u>470 人日</u>
③ ②－①	0	0	0	0	0

(10) ファミリー・サポート・センター事業

乳幼児や小学生等児童を有する子育て中の保護者を会員として、児童の預かり等の援助を受けることを希望する者と当該援助を行うことを希望する者との相互援助活動に関する連絡、調整を行う事業です。

※ 平成27年度、28年度の実績について、年度による変動が大きく見直しの根拠が厳しい状況です。平成27年度、28年度実績の2カ年平均は、量の見込みと大きな離れがみられないため見直しを行わないこととします。

(11) 妊婦健診

妊婦の健康の保持及び増進を図るため、妊婦に対する健康診査として、①健康状態の把握、②検査計測、③保健指導を実施するとともに、妊娠期間中の適時に必要に応じた医学的検査を実施する事業です。

【量の見込みと確保方策】

【変更前】

	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度
① 量の見込み	309人	300人	293人	285人	275人
② 確保方策	309人	300人	293人	285人	275人
③ ②-①	0	0	0	0	0

【変更後】 0歳児予測人口に実績による係数を乗じて見直し

	平成 27 年度	平成 28 年度	平成 29 年度	平成 30 年度	平成 31 年度
① 量の見込み	309 人	300 人	<u>496 人</u>	<u>481 人</u>	<u>466 人</u>
② 確保方策	309 人	300 人	<u>496 人</u>	<u>481 人</u>	<u>466 人</u>
③ ②－①	0	0	0	0	0